

# 人権協会 ニュース

2026年7月 第80号  
発行：摂津市人権協会  
事務局：摂津市人権女性政策課  
06-6383-1324



ホームページもご覧ください

## 令和8年度 定例総会

### 人権の未来を見つめる

5月12日（火）摂津市立コミュニティプラザにて、摂津市人権協会定例総会を開催しました。当日は、嶋野市長、南野市議会議長（四中学校区推進委員長兼任）にご臨席を賜り、ご祝辞をいただきました。

冒頭の村上会長による挨拶では、昨年の女性首相の誕生や物価高騰、中東情勢などの時事に触れ、これらの出来事が今後、日本や世界にどのような影響をもたらすのか、引き続き注視が必要である旨を述べられました。

また、人権問題に関しては、冤罪事件だとされている「日野町事件」について、再審決定はされたものの、元被告の死後であることを受けて、国が個人やその家族の人権を侵したという点の重大さと、問題の深刻さについて訴えました。



村上会長

## 令和8年度の主な事業取組

国内における差別解消への取組みは様々な啓発活動によってなされていますが、すぐに効果が得られるものではありません。そのため、法律により差別解消を促進する手法を用いて、多くの差別事象に対する解消策がとられています。しかし、外国人差別に関しては、未だ法整備が進んでいないのが現状であり、排外主義が顕在化してきています。人口減少に伴う人手不足の中で、外国人の労働者を必要とする分野があることも事実であり、多文化共生が大きな問題となっています。そこで、今年度は「外国人の人権」を重点に置き、誰もが人間として尊重され、差別のないインクルーシブな地域社会をめざして活動を進めてまいります。

### 総会后記記念講演

今年度は、ウトロ平和祈念館の副館長である金秀煥（キム・スファン）さんをお招きし、「ウトロで終わらない、ウトロの話」〜差別と分断を乗り越えた力〜というテーマでご講演いただきました。ウトロの人々が様々な困難に直面しながらも声を上げ続け、それに寄り添ってきた日本・在日・韓国の市民が

協力して人々の尊厳と生活を守ってきた歴史について学びました。また、

2021年の放火事件についてのお話の中では、ヘイトスピーチやヘイトクライムは、決して一部の人の問題ではなく、社会全体の問題であると強く訴えられました。

その背景には「日本人ファースト」という声が支持を集めていることが示すように、外国人が優遇されているという誤った認識が広まり、外国人は日本人より下であるべきだという人間を階層化するような考えが存在していることがあり、ウトロの歴史を踏まえて問題提起をし、是正していかなければならないと決意を述べられました。1月のフィールドワークと今回の講演で、今年度、協会が「外国人の人権」を重点として活動していくにあたり、私たちができることについて非常に大切な問いを投げかけていただきました。金さん、そして施設関係者のみなさん、ありがとうございました。



金 秀煥さん

## ヒューマンセミナー

2月26日(木) 2025年第2回ヒューマンセミナーを開催しました。

(有)たむらソーシャルネット取締役の田村満子さんをお招きし、「障害者の就労支援」(障害があっても自立した生活を実現する)をテーマに、制度の「はざま」にいる方々の支援についてご講演いただきました。逮捕児の支援をきっかけに、軽度障害がある女性に対する生活訓練事業を立ち上げたというエピソードをはじめ、女性たちの自立をめざすにあたって日々対面する様々な課題を、具体的事例を交えてお話しいただき、現場で求められている支援について理解を深めることができました。また、訓練修了生が就職した後の支援では、安心して力を発揮でき、仲間として一緒に働き続けられるよう「環境を整えていくこと」が重要とお話があり、参加者からは「連携の大切さが分かり、支援のヒントになった」という意見もありました。田村さんの支援者としての関わり方を通して、一人の人として向き合うことの大切さを学びました。

田村 満子さん

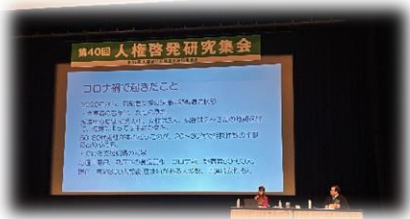
## 第40回人権啓発研究集会

1月28日(水)～29日(木)に、群馬県前橋市で人権啓発研究集会が開催され、有山事務局長が出席しました。

外国人や障害者に対する差別の現状をはじめ、ネット上における「ことば」の影響力に関する講演など、現在も続く人権問題について深く考える時間となりました。様々な人権課題に取り組む当事者の話を聴き、差別解消は容易ではないという社会の現状に対するもどかしさを感じると同時に、一人ひとりが人権意識を高め、啓発活動を継続していくことの重要性を改めて実感しました。



前橋駅



講演

## 人権に関するお話

今回は、「疎開」についてです。

一番に思い浮かぶのは、都市部から子どもを地方に移した学童疎開ではないでしょうか。サイパン島陥落後の1944年秋、国民学校4～6年生を対象に13都市で開始されました。大阪、東京などへの大空襲直後の1945年春には1～3年生にも対象を広げ、約30都市が追加されました。地方のお寺などに寄宿する「集団疎開」では、全体の約40%の学童が対象となりました。これは国の政策ですが、保護者負担も児童一人当たり月10円と定められていました。子どもを疎開させる保護者の気持ちはどのようなものだったのでしょうか。『お兄ちゃん』が疎開するとき布団を持って行ったので、僕の寝る布団が無くなった。兄弟は5～6人、物資が乏しく一組の布団に子ども二人で寝るのが一般的な時代だったことから、こんな話も残っています。

次に、集団疎開以外の約30%に当たる児童は、地方の親戚などを頼る「縁故疎開」をしました。「太郎は父のふるさとへ♪花子は母のふるさとへ♪」。当時はこんな歌が唄われました。では、疎開しなかった(できなかった)残りの約30%はどんな子どもたちだったのでしょうか。当然、保護者が拒否するケースもありました。しかし、多くの疎開から切り離された子どもは、兵隊になれない、銃後の守りも

できない障害児や病弱児でした。また、それ以上に多かったのは生活困窮者です。職人の月給が30〜40円の時代に、児童一人当たり月10円という負担は、子どもが一人とは限りないことを考えれば、耐え難い負担だったからです。そのため、学童疎開は極め付きの差別政策だったと言う人もいます。

戦争で疎開と言いつつ、子どもだけではありません。空襲による火災の延焼を防ぐため、家屋などを強制的に「疎開（立ち退き・撤去）」させて作られた幅の広い道路を疎開道路といえます。政府の命令により、木造住宅が密集する地域で建物を強制的に撤去し、広い空き地を作り、それを道路として整備しました。大阪市にもその名残があり、生野区の「豊里矢田線」は、現在も地元では疎開道路と呼ばれています。これは、「防空空地（防火帯）」としての役割の確保と、軍事物資や人員を都市外へ分散させる疎開政策の一環として実施されました。このほかにも、福岡市・横浜市にも現存する道路があります。これらは重要な「痕跡」として、都市部での戦争の歴史を今に伝え続けています。



## お知らせ

### ● 第1回ヒューマンセミナー

日時：7月23日（木）午後2時〜3時30分

場所：摂津市立コミュニケーションプラザ3階

コンベンションホール

講師：ホゼア・ベーカーさん

内容：「違いに戸惑う社会から、共に生きる社会へ」〜日米比較から学ぶ

「Radical Hope」

来日20年、日本人と国

際結婚したホゼアさんが感じる、アメリカと日本における人権問題等のお話を通して、どうすればお互いを尊重し、差別のない共生社会が築けるのかを考えます。



ホゼア・ベーカーさん

### ● 摂津市平和月間・市民のつどい

当協会も参画している世界人権宣言摂津連絡会議と市は、毎年7・8月を平和月間として様々な事業に取り組んでいます。

\*「核兵器禁止条約」の早期締結を求める

署名

核兵器のない世界の実現に向け、署名を通じて思いを届けましょう。

### \* 平和を考える市民のつどい

日時：8月22日（土）午後1時〜3時30分

場所：摂津市民文化ホール

講師：原田 小鈴（はらだ こすず）さん

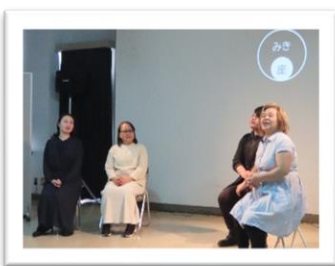
内容：「キノコ雲の上と下」

原田さんの祖父である山口彊（やまぐちつとむ）さんの二重被爆体験などについてのお話。

## 校区活動報告

人権協会では、地域での活動を効果的に進めていくため、各中学校区に校区推進委員会を設置し、地域に密着した啓発活動を推進しています。

### ● 二中学校区



2月21日（土）に新島飼公民館との共催で、二中学校区人権講演会を行いました。聴覚障害がある座長率いるみきまる座さんに「白い犬」という演目で、自身の生い立ちを演じていただきました。今回が3作目で学校での生活を描いてい

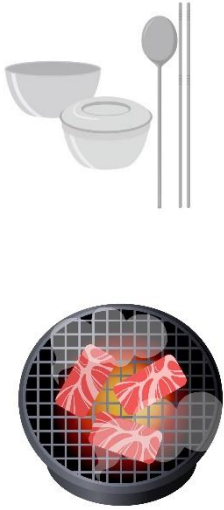
ます。学校でのいじめを受けながらも親の前では明るく振舞う辛さを、飼い始めた白い犬

との交流で紛らし、心を通わせて行きます。  
この世に「音」という存在があることも犬の  
振舞いで覚えていきます。聴導犬がまだ普及  
していない時代に、白い犬は聴導犬以上の存  
在となつていきます。やがて主人公は成人し、  
白い犬は先に旅立ってしましますが、心を通  
わせた存在の大切さを痛感しました。

## ●四中校区



3月1日(日) 京都府  
宇治市「ウトロ平和祈念  
館」へのバス研修を開催。  
ウトロ地区は、1940年から  
日本政府が推進した「京  
都飛行場建設」に集めら  
れた在日朝鮮人労働者た  
ちの飯場跡に形成された  
集落です。在日コリアン  
の悲しい歴史とそれを乗り越えた「小さな統  
一」の力、ウトロを守りぬいた人々の姿を通  
じて、人権と平和の大切さや共に生きること  
の意味を学びました。現在は、ウトロ平和祈  
念館として、日本と朝鮮半島の未来を担う人  
たちが出会い交流が深まる場を目指して活動  
されています。



## ●五中校区



3月15日(日)に「人  
権ジャズコンサート」を  
行いました。前半はイン  
ターネットでの人権侵  
害や差別について学び  
ました。後半は藤澤茉莉  
那をゲストボーカルに  
迎えたジャズバンド「東  
公民社中」によるジャズ  
コンサートで、「上を向  
いて歩こう」「ベサメ・ムーチョ」など、特に  
「テネシー・ワルツ」が圧巻で、心を癒やすジ  
ャズを楽しみました。参加者は24名でした。

## 今後の校区活動予定

今後、すべての校区において、人権のつど  
い・人権バス研修・人権教育啓発作品展など  
が行われる予定です。日程については、校区  
推進委員連絡会を通じて地域のみなさまにお  
伝えするとともに、次号の協会ニュースでも  
お知らせします。ぜひ、みなさんもお近くの  
校区での活動へご参加ください。

「興味はあるけれど、人権に関する活動を  
したことがない…」という方も大歓迎です。  
地域の仲間と一緒に楽しく、時には真剣に、  
人権について考えてみませんか。

## 人権なんでも相談(電話・面接)

☎06-6383-1011

◆日時 毎週月曜日～金曜日

午前10時～午後4時

◆場所 摂津市役所4階 人権女性政策課

摂津市人権協会では、あなたの相談を丁寧  
にお聞きし一緒に考えさせていただきます。  
あなた自身もしくは周りの人が困ってい  
ることがありましたら、気軽にご相談くださ  
い。

## ご入会の案内

摂津市人権協会は、人間尊重のまちづくり  
をめざし、摂津市とともに地域に根ざした活  
動している団体です。各中学校区の皆さん  
が、自由な発想のもとに人権意識を高めるた  
めの講演会・研修会等を開催し活動していま  
す。地域での人権の輪を広げる活動に一緒に  
参加してみませんか。

ご加入を希望される方は、摂津市人権協会  
事務局までご連絡をお願いします。

※入会金不要

摂津市人権協会事務局

(摂津市役所 人権女性政策課内)

☎06-6383-1324